

第5回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会 会議概要

1	審議会名	第5回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会
2	日 時	令和5年8月24日 午後2時30分から午後4時30分まで
3	会 場	安曇野市役所 3階 会議室301
4	出席者	尻無浜会長、山崎(徳)副会長、山崎(博)委員、池田委員、 草間委員、小澤委員、酒井委員、依田委員、西澤委員、 小木曾委員、藤松委員
	<事務局>	安曇野市社会福祉協議会 地域福祉課 大澤課長、宮澤主幹係長、 稲越まちづくり担当係長
5	市側出席者	上條課長、丸田係長、水野主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 1 人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	令和5年9月5日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (進行：上條課長)	
2	会長あいさつ (尻無浜会長)	<p>地域福祉計画は行政計画の一つではありますが、介護保険事業計画などとは違って、枠組みがしっかりしているようで実はあまりしっかり決まっておらず、何をすればどうなるかがはっきり見えてこない、非常に難しい性質の計画です。</p> <p>本日の会議では、計画の骨格部分の議論を終わらせて、10月、11月の委員会ではパブリックコメントなどの形を整え、成案を検討していくことになります。</p> <p>委員の皆様は、市民の声を日々把握していることから、市民の意見を可能な限り反映できるよう意見をお願いします。</p>
3	協議事項	<p>(1) 庁内ワーキング会議の報告について (水野主査) 資料に基づき説明。</p> <p>(尻無浜会長) 地域福祉計画に盛り込むべき4項目について、市役所内で議論をしたことの報告がありました。</p> <p>(委員からの質問、意見) 特になし。</p>

(2) 第4期計画の施策体系(案)について

(丸田係長) 資料に基づき説明。

(宮澤主幹係長) 資料に基づき説明。

(委員からの質問、意見)

(山崎(博)委員)

施策体系では、今実施している事業や講座が示されているが、これらをどういう形で記載するか確認したい。事業や講座を細かく出してイメージを膨らませて概要を記載するのか、このまま事業や講座まで記載する細かい形とするのか。

(尻無浜会長)

結論はまだ先にさせていただきます。今回は、計画の表現に関するご意見をいただきました。

(依田委員)

アンケート結果等の課題がどの様に反映されたのか、分かるものと分からないものがありました。

また、新しく始める事業が沢山あるので、優先順位や何年目から開始するかなどの目標設定の管理がどうなるのか疑問に思います。

(尻無浜会長)

事業対象者で市民と区民を敢えて分けていますが、区民が対象となっていることが多く、区に添った事業に力を入れていることを強調しています。

第3期計画の時から、事業をより細かく分かり易く示していく流れがあり、第4期計画もその流れを踏襲しましたが、濃淡が無いことで分かり難くなってしまった部分もあるかと思えます。

(藤松委員)

本計画は誰を讀者として考えているか聞きたい。というのも、同じ事業でも市の事業名と社協の事業名で全く違うものがあるので、本計画を活用する人を考えて事業名を統一していかないと、活用され難くなると思うので、事業名の統一について考慮してもらいたい。

(丸田係長)

事業名については、今後市と社協で検討していきます。

(尻無浜会長)

健康寿命の延伸として講座の開設などありますが、健康産業開発などの取り組みを行政政策の中で検討するという視点があってもよいと思います。稼ぐ健康は言い過ぎですが、このような事業に挑戦してはどうかという提案になります。

(酒井委員)

ファミリーサポートの利用者から、個人情報を守るなどの基本的なことを勉強された人を派遣して欲しいとの要望や、しっかりと教育を受けた人を派遣して欲しいとの意見を聞きます。

また、現在障がい児の保護者を支援する事業を実施していますが、障がい児がいる家庭の保護者ほど支援に繋がらない状態になっています。保育士として支援に繋げる信頼関係を築く上で、どこまで話せるのか凄く苦慮しているので、具体的な保護者支援も大事だと考えています。

未満児保育では、0、1歳児は3対1で対応していますが、2歳児は6対1で対応しています。ですが、2歳児までは手厚い対応が必要になるので、3対1で対応できるよう、補助金を検討してもらいたいと考えています。

(尻無浜会長)

子ども子育て事業計画との整合性は図られていますか。

(丸田係長)

子ども子育て事業計画から、事務局で地域福祉計画に必要な箇所を書き出しています。内容については、担当課と検討していきます。

(尻無浜会長)

関連する計画が別があり、地域福祉計画ではどうするか、きちっと押さえておかないと、あいまいになってしまう可能性があるので、これから検討を進めていきます。

(尻無浜会長)

重点事業2として、包括的支援体制づくりがありますが、資料は策定中ですので、次回検討していくことになります。

また、委員の皆様のご意見がありましたら、後日事務局へ提出をお願いします。

(山崎(徳)副会長)

コロナでいきいきサロンができなかったが、現在は手品やポッチャなどを実施して好評でしたし、お茶会では長い間会話に夢中になっていたことから、人と人との繋がりになる会話、集まる場所・機会が一番大事になると考えています。

(池田委員)

地域福祉計画で方針が示され、地域福祉活動計画で実践していきますが、それを実施主体に伝えていく課題があると考えています。実施主体は、区、市・支部社協などありますが、どういう形で伝達され、参加していただき、計画の思いを共有できるかがキーポイントだと思います。

(草間委員)

委員の皆様のご意見をいただき、良い計画が作れればというのが一番の思いですが、計画をどう活用していくかは、受け取った住民や地域での担い手次第になると思います。そういう意味では、人材が一番大切ですが難しい課題になると考えているので、担い手づくりに注力して計画策定を考えていきたいです。

(酒井委員)

園には、ろうあ者の保護者がいますが、仕事を探したがどこに行っても断られていたので、社会福祉協議会で相談することを勧めたところ、仕事を見つけることができました。

園、学校や団体などの専門職でも、知らない事がいっぱいありますので、計画を勉強して必要な人へ情報を共有することが大事だと考えています。

4 その他

(1) 各種団体等への施策体系（案）に関する意見聴取について

(丸田係長)

第3期計画の振り返りとして各種団体等から意見を伺いましたので、関係する各種団体等に今現在の施策体系を示し意見を伺う機会を作っていきたいと考えています。具体的には、区長会、民生児童委員協議会や団体・事業者の皆様へ意見を伺いたいと考えています。

(宮澤主幹係長)

支部・地区社協及び理事と評議員幹事へ、今現在の施策体系を説明して意見を伺いたいと考えています。

5 閉会